

数 学 問 題

[1] $A=x^2+4x-3$, $B=2x^2-x+4$ とする。 $2A-3B$ を計算すると

である。

- ① $-4x^2+5x-18$ ② $-4x^2+11x-18$
 ③ $-4x^2+11x-15$ ④ $-4x^2+11x+6$

[2] $6x^2-x-15$ を因数分解すると である。

- ① $(2x-3)(3x-5)$ ② $(2x-3)(3x+5)$
 ③ $(2x+3)(3x-5)$ ④ $(2x+3)(3x+5)$

[3] $\sqrt{48}-\frac{\sqrt{108}}{2}+\frac{6}{\sqrt{12}}$ を計算すると である。

- ① $\sqrt{3}$ ② $2\sqrt{3}$ ③ $3\sqrt{3}$ ④ $4\sqrt{3}$

[4] 連立不等式 $\begin{cases} 5x-1 > x+3 \\ 2(x-1) \leq x+1 \end{cases}$ を解くと である。

- ① $x < 1$ ② $1 < x$ ③ $1 < x \leq 3$ ④ $3 \leq x$

[5] 実数全体を全体集合とし、 $A=\{x|0 < x < 6\}$ 、 $B=\{x|x < -2, 2 < x\}$

$C=\overline{A \cup B}$ とする。 $A \cap C =$ である。

- ① $\{x|0 < x \leq 2\}$ ② $\{x|x < 0, 6 \leq x\}$
 ③ $\{x|2 < x < 6\}$ ④ $\{x|2 \leq x, 6 \leq x\}$

[6] x, y は自然数とする。「 $x+y$ は偶数である」は「 x と y は偶数」であるための

.

- ① 必要条件であるが十分条件ではない
 ② 十分条件であるが必要条件ではない
 ③ 必要十分条件である
 ④ 必要条件でも十分条件でもない

[7] 放物線 $y = 2x^2 - 5$ を x 軸の方向に -1 、 y 軸の方向に 2 だけ平行移動した放物線を表す2次関数は である。

① $y = 2x^2 - 4x - 1$

② $y = 2x^2 - 4x + 1$

③ $y = 2x^2 + 4x - 5$

④ $y = 2x^2 + 4x - 1$

[8] $y = -x^2$ を平行移動したもので、2点 $(0, -1)$ 、 $(-3, -4)$ を通る2次関数の方程式は である。

① $y = -x^2 - 2x - 1$

② $y = -x^2 - 2x + 1$

③ $y = -x^2 + 2x - 1$

④ $y = -x^2 + 2x + 1$

[9] 2次関数 $y = -3(x+1)^2 + 1$ (定義域 $-2 \leq x \leq 1$) において、最小値は である。

① -1

② -2

③ 1

④ 2

[10] 2次関数 $y = x^2 + 2(k+1)x + k^2 - 1$ のグラフが x 軸と接するように、定数 k の値を定めると である。

① $k = -2$

② $k = -1$

③ $k = 1$

④ $k = 2$

[11] 放物線 $y = x^2$ を平行移動して、 x 軸と点 $(-2, 0)$ および原点で交わるようにした。このとき、その放物線の頂点の座標は である。

① $(-1, -1)$

② $(-1, 1)$

③ $(1, -1)$

④ $(1, 1)$

[12] 2次方程式 $x^2 + 2(a-2)x - 3a = 0$ が、 2 より小さい解と 2 より大きい解をもつとき、定数 a の値の範囲は である。

① $a < 0$

② $0 < a$

③ $a < 4$

④ $4 < a$

[13] A が鋭角で、 $\cos A = \frac{12}{13}$ であるとき、 $\cos(90^\circ - A) =$ である。

① $\frac{5}{13}$

② $\frac{5}{12}$

③ $\frac{12}{13}$

④ $\frac{12}{5}$

[14] 水平面上のまっすぐな道路が、ある木に向かっている。道路上のA地点で木の先端の仰角を測ったら 45° であった。さらに、A地点から10m道路を進んだB地点で測ると 60° であったという。目の高さを1.5mとして、この木の高さは mである。

- ① $5\sqrt{3} - 3.5$ ② $5\sqrt{3} + 1.5$ ③ $5\sqrt{3} + 6.5$ ④ $16.5 + 5\sqrt{3}$

[15] 直線 $y = -x$ の $y \geq 0$ の部分と直線 $y = \sqrt{3}x$ の $y \geq 0$ の部分のなす角は $^\circ$ である。

- ① 30 ② 45 ③ 60 ④ 75

[16] $\triangle ABC$ において、 $AB=6$ 、 $\angle BAC=120^\circ$ 、 $\angle ABC=15^\circ$ のとき、 $BC =$ である。

- ① $3\sqrt{2}$ ② $3\sqrt{6}$ ③ $4\sqrt{6}$ ④ $6\sqrt{3}$

[17] $\triangle ABC$ において、 $BC=7$ 、 $CA=8$ 、 $AB=5$ のとき、 $\angle BAC =$ $^\circ$ である。

- ① 30 ② 45 ③ 60 ④ 120

[18] 平行四辺形 $ABCD$ がある。 $AB=5$ 、 $AD=8$ 、 $\angle BAD=120^\circ$ のとき、 AC の長さは である。

- ① 6 ② 7 ③ 8 ④ $\sqrt{129}$

[19] 小さい順に10個のデータが下記のように並び、 A 、 B は整数値で、 $A > B$ であるとする。また、データの平均値は39.5、中央値は40.5であるとき、 A 、 B の値は である。

(データ) 31, 33, 34, 38, B, 41, 42, 44, 45, A

- ① $\begin{cases} A=45 \\ B=42 \end{cases}$ ② $\begin{cases} A=46 \\ B=41 \end{cases}$ ③ $\begin{cases} A=47 \\ B=40 \end{cases}$ ④ $\begin{cases} A=48 \\ B=39 \end{cases}$

[20] A、B、C、Dの4人がじゃんけんを1回する。4人のうち1人だけが勝つ場合は 通りである。

- ① 3 ② 12 ③ 27 ④ 81

[21] 父母とその子供4人が横に1列に並ぶ。父母が隣り合わない並び方は 通りである。

- ① 240 ② 360 ③ 480 ④ 600

[22] 三角形の頂点と各辺の三等分点を合わせた9個の点のうち3点を頂点とする三角形は 個である。

- ① 72 ② 78 ③ 81 ④ 84

[23] 5枚の硬貨を同時に投げるとき、少なくとも2枚は表が出る確率は である。

- ① $\frac{1}{2}$ ② $\frac{9}{16}$ ③ $\frac{13}{16}$ ④ $\frac{17}{16}$

[24] 袋の中に白玉8個と黒玉4個が入っている。袋の中から1個取り出して色を調べ、それをもとに戻し再び1個取り出し色を調べ、2個とも白である確率は である。

- ① $\frac{5}{198}$ ② $\frac{1}{3}$ ③ $\frac{14}{33}$ ④ $\frac{4}{9}$

[25] A君は野球の試合で打席に立ったとき、確率 $\frac{3}{10}$ で安打を打ち、確率 $\frac{7}{10}$ でアウトになる。4打数3安打である確率は である。

- ① $\frac{189}{2500}$ ② $\frac{1}{3}$ ③ $\frac{1}{2}$ ④ $\frac{3}{4}$